

令和8年4月26日
執行

矢掛町議会議員一般選挙公報

矢掛町選挙管理委員会



無所属
こづか いくお
小塚 郁夫

昭和二十七年十二月十日生まれ
元 矢掛地区自治協議会会長
元 広報広聴常任委員会委員長
現 矢掛町公民館運営委員長
現 矢掛町議会副議長

この度矢掛町議会の改選に当たり地元地域の皆様方をはじめ多くの方々から温かいご支援を頂き、三期目の立候補を決意いたしました。

各地域の特色ある文化・行事を継続し、のどかな田園風景を大切に高齢者や子ども達が安心して暮らせる、防災対策、生活環境整備等地元地域の皆様の要望を実現するため、行政とのパイプ役となる覚悟でございます。

何卒、皆様方からのご支援を心よりお願い申し上げます。



ひらまた たかよし
原田 政義

昭和二十八年十一月十一日生（七十二歳）
岡山県立笠岡工業高等学校（土木科）卒業
元 中川地区 浅海自治会 会長

皆様のご意見を大切にして活動する決意

この度わたくしは、矢掛町議会議員の改選に当たり、中川地区をはじめとする多くの皆様方からご推薦をいただき、町議会議員選挙に二期目に挑戦することを決意しました。

『住みたい町・住んでよかった町づくりを目指します』

スローガン 「地域の安心・安全を」

『地域の安心・安全を』を実現するために主な項目を上げています。
「報・連・相」をしっかりと行いながら活動していきます。

※少子化対策、子育て世帯への支援と補助を

○婚活活動の出会いと機会提供と支援
○放課後児童クラブの充実と推進

※防災に取組み、身の安全を

○危険意識を持って（防災訓練の実施と充実）
○住宅の耐震化診断・改修の促進と補助の充実

○災害時の個別避難計画書作成促進

※農業を元気に出来る政策作り

○水利・用水組合の活動の促進と対策
○農業の担い手不足対策

○施設の整備充実のための補助の充実

※高齢者・障害者の交通網の整備

○買い物・通院の移動手段の確保

今後とも、皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

声を届ける！声を実現する！ ～動く議会が未来を拓く～

○人口減少・少子高齢化、定住化・子育て支援、障害者福祉、教育行政の充実、農業振興、災害対策事業、賑わい創出・観光振興など、諸々の課題を議会として理解し、我が町を安定した住みやすいゆとりある‘ふるさと’として未来へつなげていくため、町行政に対して緊張感と協働意識が必要とされる今、4期目の立候補を決意いたしました。

まちづくり…世代と世代の架け橋となり、職責を果たす

○あらゆる年齢層の町民皆様のさまざまな『声』をお聞きし、その実現に向けて‘しっかりと行政に提言していく’というスタンスでこれからの“まちづくり”に関わっていきたくと考えています。議員としての3期12年間の経験を活かし、いま私に出来ることを気負わず謙虚に、誠心誠意取り組んでいく覚悟ですので、皆様の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 私の信条
- 一、議決権を信念に基づき行使します

一、調査・検査権を適正に行使します

一、請願受理権を正しく広く全うします



はなかわ ひろし
花川 ひろし

昭和三十八年六月十日生（六十二歳）
岡山県立岡山東商業高等学校卒業
2014年矢掛町議会議員初当選
議長・副議長・監査委員・常任委員会委員長（総務文教・広報広聴）歴任



略歴
原田 ひでし

昭和29年2月9日生（72歳）
岡山県立笠岡工業高校 土木科卒
元 町役場農林建設課長
現 体育協会理事長
現 予算決算常任委員会委員長

この度の矢掛町議会議員の改選にあたり、地元の皆様方を始め、多くの方々のご支援、ご支持をいただき、三期に向け、立候補を決意いたしました。

矢掛町は、平成の市町村合併を選択せず、独自の町づくりを行う中、「住み続けたい街」ランキングで県内トップに輝きました。少子高齢化が進み、人口減少が進む中での町づくりは、現世代はもとより、次の世代にも支持される暮らしが可能になる施策の展開が必要になります。

住み続けたい町づくりを推進するため、一人ひとりの繋がりを、地域の絆をもとに、「繋がりで笑顔あふれる町づくり」を目指した施策に引き続き取り組んでまいりますので、ご支援、ご支持を引き続きよろしくお願いいたします。



とし ひこ
どい 俊彦

（略歴）昭和三十四年十一月二十六日生
興譲館高等学校卒

この度の矢掛町議会議員選挙の改選にあたり、一期目で培った経験と実績を生かし、さらに地域のために働く覚悟で、二期目の挑戦を決意しました。

これまで地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、その思いを町政へ届けることを信条に取り組んでまいりました。

これからも皆さまのご要望やご意見をしっかりと町政に届け、安心して暮らせる住みよい地域づくり、明るく活力あるまちづくりのため、全力で取り組んでいきます。

皆さまの声を力に、この地域の未来のため行動してまいりますので、どうか皆さまの力強いご支援を心よりお願い申し上げます。



川上 じゅんじ

昭和三十六年一月二十三日生（六十五歳）
最終学歴 県立笠岡工業高校 電気科卒

12年間の議員活動では、仕事と議会の両立がとても大変でした。その経験を通して「まだ町のためにできることがある」という気持ちが強く残りました。定年を迎えた今こそサラリーマンとして働いてきた視点を生かし若い人たちが「ここに住みたい」と思える町にしたいと考えています。そのために、若い世代の声をしっかりと町政に届け、もう一度自分の力で町を良くしていく覚悟で再び立候補する決意を固めました。

小北中学校の統廃合を控える中で、子どもたちの気持ちにしっかりと寄り添い、その不安や戸惑いを受け止められるよう努めてまいります。また、出生率の低下が続く中で、今後は小学校の統合も視野に入れながら地域コミュニティをどのように維持・継続していくことが最善なのか、地域の皆さんと直接向き合い、ともに考えていく必要があると考えています。

高齢化率が今後さらに上昇していくことは避けられませんが、しかし、観光立国としての基盤が整いつつある今こそ、移住の推進や、住民が少しでも健康を保てるよう健康増進に力を入れるべきだと考えています。その一環として、やかげ病院で人間ドックを受けられる体制を整えることを検討し、地域の健康づくりと医療の充実を同時に進めていきたいと思っております。

令和 8 年 4 月 26 日
執 行

矢掛町議会議員一般選挙公報

矢掛町選挙管理委員会

町づくり 地域づくりを 一緒に
小さな思いを 大きな力に！

♡子育て・教育を応援します

安心して子育てができる環境を 一緒に考え整えます。

郷土愛にあふれる子どもが のびのび育つ教育を支援します。

♡強いきずなで 地域の活性化をめざします

同じ思いで支え合い、みんなで一緒に 活発な地域づくりをめざします。

♡快適な暮らしを続けられるよう 橋渡しをします

住み慣れた地域での生活を 安全で安心して続けられるように 皆さんからの
声を行政へしっかり伝えます。

♡未来を見ずえて 挑戦をします

次世代に 胸を張って渡せるより素晴らしい矢掛町を思い描いています。

ひとりひとりの小さな思いも つないでいけば、大きな力になります。

その一翼を担う覚悟で 取り組んでまいります。

《女性の声も議会に！！》



ふくだ京子

きょうこ
無所属



あさの
浅野つよし

歴史かおる文化の町
品格ある矢掛町を目指して

多くの町民の皆様のご支援により町政の課題に取り組むことが出来ました。特に重伝建選定、無電柱化、道の駅開設と三大事業が出来、川まちづくり事業も完成を向かえようとしており新しい矢掛のスタートとなりました。厚く御礼申し上げます。

歴史かおる文化の町矢掛は、歴史・文化遺産、自然遺産が多くあります。この素晴らしい田園都市を後世に残し、優しさ溢れ快適で元氣な町を皆様と共に創り上げたいと思います。

今後、益々少子高齢化は進む傾向にあります。福祉、医療、教育の充実が町政の重要課題です。

更に産業振興は矢掛町発展に欠かせません。

種々課題を解決するためには、町民の皆様と行政が情報を共有し協働で解決するほかありません。

微力ではありますが、全力で町政の課題に取り組む所存でございます。

どうか皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

五つの重点政策

- 一、教育と人づくり
- 二、産業振興
- 三、医療福祉の充実
- 四、観光・地域活性化
- 五、情報公開と
町民視点の町政

プロフィール 昭和二十年 矢掛町生まれ
岡山県立矢掛高等学校卒業・立命館大学文学部卒業
繊維商社を経て、矢掛町にて行政書士事務所開業
矢掛町議会議員
(主な議会活動歴) 予算決算常任委員会委員長
総務文教常任委員会委員長
議会運営委員会委員長・議会議長
(主な所属団体) 岡山県文化財保護協会理事
備中矢掛宿の街並みをよくする会事務局長
岡山県年金協会小田分会会長
岡山県年金協会岡山県国際交流協会
NPO法人全国町並み保存連盟会員



つちだまさお
土田正雄

昭和二十五年三月二十六日生(七十六歳)
略歴 日本大学工学部卒
元町役場職員
現 矢掛町認定農業者協議会会長
現 美山川土地改良区理事長
現 議会運営委員会委員長

この度の矢掛町議会議員の改選に当たり、地元皆様方からの温かいご理解とご支援をいただき、四期目の立候補を決意いたしました。

生活基盤の維持と交通確保に向け努力し、農業振興や空き家対策に取り組む、誰もが安心してくらせるよう、全力で取り組んでまいります。

何卒、皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

取り組み目標

- 一、生活基盤の維持と交通確保
- 一、夢の持てる農業への取り組み
- 一、空き家対策への取り組み
- 一、持続可能な地域社会の構築
- 一、「寄り添う福祉」の充実



やまべ美由紀

年齢 49歳 学歴 笠岡商業高校卒業
土井農園代表 矢掛町認定農業者
おかやま農業女子前会長
農林水産省総合化事業計画認定者

心をつなぐ、未来を創る。

この度の矢掛町議会議員の改選に当たり私の地元に対する熱い思いを理解して頂いた地域の皆様からの温かいご支援、ご推薦を賜り立候補を決意致しました。

地域の宝である子供達の明るい未来を創造する為、「地域の産業を活性化させ、人口減少を食い止め、弱者に寄り添う福祉の質を向上させる」施策を情熱と真心を持って取り組んで参ります。

矢掛町の明るい未来の為に、精一杯頑張りますので、皆様からの温かいご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

笑顔の架け橋、地域の未来を共に育てます！



- ① 矢掛町の明るい未来を創造する！
- ② 子供たちの未来を守る！
- ③ 地域の特産品をアピール！



田中てるお

【略歴】
昭和32年9月19日生(68歳)
現 岐阜経済大学経済学部卒
現 産業福祉常任委員長
現 (社福) あすなろ園理事

この度の矢掛町議会議員の改選にあたりまして、地区の皆様方ははじめ、多くの方々から温かいご支援、お力強いご推薦をいただき、三期目の立候補を決意いたしました。

矢掛町も人口減少が進んでおりますが、それは衰退ではなく「成熟した安定社会」への過程と考えられます。次世代を担う子ども達・子育て世代の支援、永く社会のため地元発展のため貢献されてきた高齢者の福祉充実、産業振興と生活基盤のインフラ整備等により、安全で住みやすい町づくりを進めていくことが、町民皆様の願いであるとの認識に立ち、その負託に応えるべく取り組んで参ります。

政策の判断は町民目線で、行政対応は是々非々で臨みます。

何卒、皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私の信条

(生まれ育った矢掛町が)
『住んで良かったと
実感できる町に』



杉本しろうじ

元倉敷市議会議員
立命館大学卒業

立候補の決意

人生100年時代と言われています。私の信条としています言葉が、彫刻家・平櫛田中先生の名言「いまやらねばいつできる」「わしがやらねばたれがやる」です。私の長い人生経験と議員活動の経験を生かして、若い人から我々年配の方まで心よせあい、皆様の声の代弁者として議会へ送っていただきたいと思ひ立候補を決意いたしました。

どうかよろしくお願ひ申し上げます。

「私の取り組み目標」

- 一、福利厚生レベルアップ
- 一、町所有の空地を有効活用へ
- 一、住みたい所、住んでみたい所矢掛町が大幅ランクダウン、これをランクアップへ
- 一、有効な空き家対策の実施

令和 8 年 4 月 26 日
執 行

矢掛町議会議員一般選挙公報

矢掛町選挙管理委員会



まきの やすひろ

(略歴) 昭和三十九年二月二十六日生
東海大学工学部卒業

「幸福度」の高い町へ

町民の皆様との対話を大切に、
想いを「カタチ」にできる仕組み作りを進めます。

・「健康寿命」を延ばす政策の充実

・子育て、教育環境の整備

・観光、町づくりの活性化

「共感」いただける皆様の、ご支援ご協力を心より
お願い申し上げます。



岸野 えいじ

昭和二十三年二月生
元 矢掛町消防団 山田分団長
元 矢掛町農業委員会 会長
現 里山土地改良区 理事長
現 井原交通安全協会 副会長

矢掛を思い安全安心の町づくり、子どもや子育てにやさしくお年寄りが元気に暮らせる町づくり、自然豊かな農地を守り、みんなが元気で暮らしが豊かになる町づくりに一生懸命頑張つて参りました。地元の皆様を始め多くの方々の温かいご理解と支援をいただき再び立候補を決意いたしました。

私は矢掛町を暮らし易い快適で元気な町にします。「支援」協力を賜りますようお願い申し上げます。

取り組み目標

- 一、安全安心暮らし易い福祉の町づくり
- 一、活力ある農業工業商業林業を成長産業に
- 一、災害に強いインフラ整備の実行
- 一、子育てにやさしい家庭や学校教育の実現

あなたの一票 あかるい郷土

清き一票を投じましょう

小さな声を 矢掛の希望に！

子育て世代の情熱で、全世代の暮らしを自分事に。矢掛に安心と希望を！

私は現在、この町で子育てに励む一方、ご年配の皆さまの暮らしも自分事として考える現役世代の一人です。地域を歩く中で伺った「教育環境が心配」「通院の足が不安」という切実な「小さな声」。これらを決して置き去りにせず、必ず町政へ届けるために、新人として、初めて挑戦いたします。
今の子どもたちが「この町に住み続けたい」一度離れても「いつか必ず帰ってきたい」。そう胸を張って言える、希望あふれる矢掛を皆さまと共に創り上げたい。皆さまの声を、一歩ずつ、『形』に変えていきます。
どうか温かいご支援、お力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



こんどう
近藤 ゆうき

47歳

3つの重点目標

- ①「子育て・教育」を全力応援！
矢掛の環境を活かした教育を推進し、次世代に選ばれる町を創ります。
- ② 離れて暮らす家族の「心配」を「安心」へ！
デジタルで家族の想いをつなぐ！遠方の家族も安心の支援ガイドを制作。
- ③「対話」でつくる開かれた町政！
タウンカフェミーティングと SNS で、あなたの声をダイレクトに政策へ。

経歴 小田小学校、小北中学校、笠岡高等学校、拓殖大学工学部工業デザイン学科卒
現在 ONE INSURANCE（株）のアドバイザーとして保険代理店の経営を支援
これまでの役職 矢掛町教育委員、矢掛町消防団本団本部部長、小・中学校 PTA 会長
学校運営協議会委員、公民館運営委員 保有資格 AFP（アフィリエイト ファイナンシャル プランナー）

◎投票日 4月26日(日) 午前7時～午後6時

◎投票所

矢掛投票区	矢掛町農村環境改善センター
美川投票区	美川生活改善センター
三谷投票区	三谷コミュニティセンター
山田投票区	山田会館
川面投票区	鵜江会館
中川投票区	中川町民会館
小田投票区	こうど会館

◎期日前投票ができる場所 役場 1階ロビー

◎期日前投票ができる期間 4月22日(水)～25日(土) 午前8時30分～午後8時

令和8年4月26日
執 行

矢掛町議会議員一般選挙公報

矢掛町選挙管理委員会

三ない運動で明るい選挙

『贈
ら
な
い
』

『求
め
な
い
』

『受
け
と
ら
な
い
』

◎幸せの 未来を託すこの一票

◎ 4月26日の投票日には
みんなで投票しましょう

選挙の詳細は
こちら↓

矢掛町 選 挙 管 理 委 員 会
矢掛町 明るい選挙推進協議会

